



INNO
VATION 30

2026年3月期 通期 決算説明資料

2026年5月13日

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

(証券コード：6638) 東証プライム市場

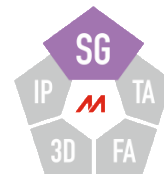
2026年3月期 連結業績

1. 第4四半期・通期実績

2. 2027年3月期 通期予想

3. APPENDIX

NEW



UJ330H-160

ロール素材への出力とリジッド（ボード）素材のダイレクトプリントを1台で実現するハイブリッドUVプリンタ

省スペース・設備投資の抑制を両立する「Next Standard」
サイン制作事業者や印刷会社をはじめとするグラフィック制作現場へ提案

* 2026年3月リリース

連結業績ハイライト① (2026年3月期 4Q実績)



売上高

23,341百万円

前年同期比 +3.3%

営業利益

3,085百万円

前年同期比 +82.7%
営業利益率 13.2%

経常利益

2,904百万円

前年同期比 +83.0%
経常利益率 12.4%

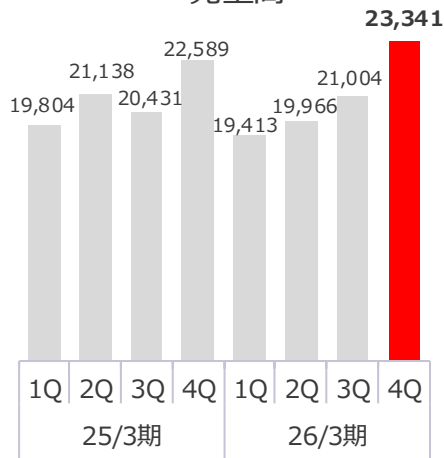
四半期純利益*

2,220百万円

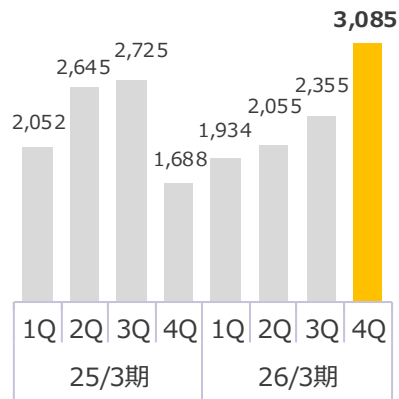
前年同期比 +83.3%
四半期純利益率 9.5%

*親会社株主に帰属する四半期純利益

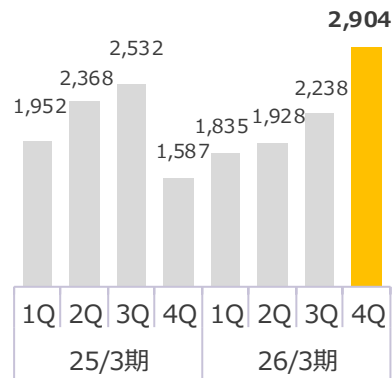
売上高



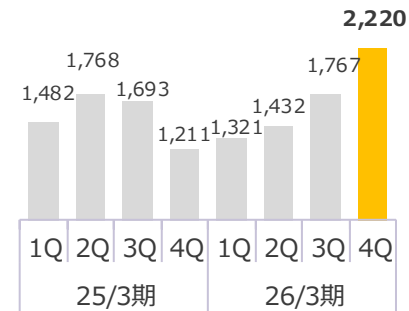
営業利益



経常利益



四半期純利益*



連結業績ハイライト② (2026年3月期 4Q実績)



		2025年3月期				2026年3月期(1-3月)		
		4Q実績	売上高 比率	4Q実績	売上高 比率	前年同期比増減		
(単位：百万円)						金額	率	率(除為替)
売上高		22,589	-	23,341	-	+751	+3.3%	-1.8%
営業利益		1,688	7.5%	3,085	13.2%	+1,396	+82.7%	+43.8%
経常利益		1,587	7.0%	2,904	12.4%	+1,317	+83.0%	-
四半期純利益*		1,211	5.4%	2,220	9.5%	+1,009	+83.3%	-
為替レート	米ドル	152.61円	-	156.87円	-	+4.26円	+2.8%	-
(期中平均)	ユーロ	160.50円	-	183.65円	-	+23.15円	+14.4%	-

*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 751百万円の増収（+3.3%、内為替影響 +1,156百万円）、予想比上振れ。為替影響除きでは1.8%減
製品市場別は、SGは複数の新製品が想定を上回る販売となり売上拡大に寄与。TAは4Qリリースの昇華転写フラッグシップモデルや特定用途の専用機種の販売が好調。インクも2桁成長。IPは本体の大型FB*の販売が好調も前年同期比では減少。インクは2桁増収。FAは自動車業界向けFA装置が大きく減少
- 営業利益は、前年同期比 1,396百万円の増益（+82.7%、内為替影響 +656百万円）も営業利益率は13.2%。過去最高益
前年同期に一時的な費用の発生に加えて為替が寄与。売上原価率は、原価低減活動が奏功。販管費は、研究開発費は計画比以上に投資するも、その他の費用は売上に応じた執行に努めたことで計画どおり推移

売上高

83,725百万円

前年同期比 Δ 0.3%

営業利益

9,431百万円

前年同期比 +3.5%
営業利益率 11.3%

経常利益

8,907百万円

前年同期比 +5.5%
経常利益率 10.6%

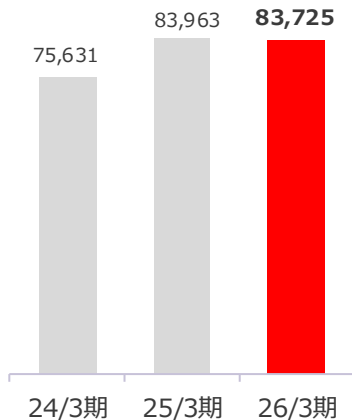
当期純利益*

6,741百万円

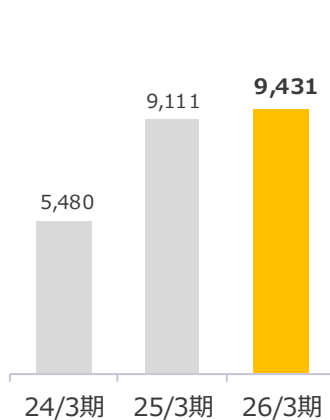
前年同期比 +9.5%
当期純利益率 8.1%

*親会社株主に帰属する当期純利益

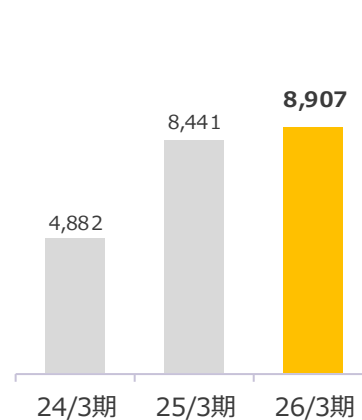
売上高



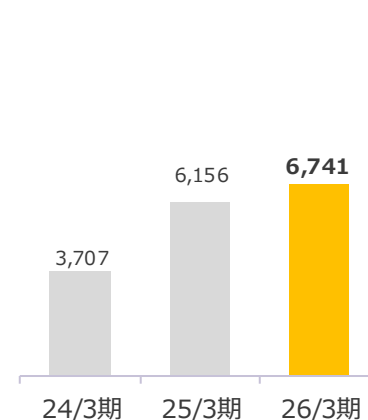
営業利益



経常利益



当期純利益*



連結業績ハイライト④ (2026年3月期 通期実績)



(単位: 百万円)	2025年3月期		2026年3月期						
	通期実績	売上高 比率	通期実績	売上高 比率	金額	前期比増減 率	率(除為替)	前回予想	前回予想比 増減額
売上高	83,963	-	83,725	-	-238	-0.3%	-1.3%	82,500	+1,225
営業利益	9,111	10.9%	9,431	11.3%	+319	+3.5%	-2.4%	8,500	+931
経常利益	8,441	10.1%	8,907	10.6%	+465	+5.5%	-	7,800	+1,107
当期純利益*	6,156	7.3%	6,741	8.1%	+585	+9.5%	-	5,500	+1,241
為替レート	米ドル 152.57円	-	150.78円	-	-1.79円	-1.2%	-	147.56円	+3.22円
(期中平均)	ユーロ 163.74円	-	174.79円	-	+11.05円	+6.7%	-	166.88円	+7.91円

*親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、前年同期比 238百万円の減収 (-0.3%、内為替影響 +880百万円) 予想比上振れ。為替影響を除くと1.3%減
製品市場別は、SGは新製品のエコソルベントのエントリーモデルが期を通じて好調、インク堅調も、既存のUVモデルが伸び悩み小幅な増収。
IPはインク好調や本体が下期より小型FB回復基調も新製品の端境期影響による上期軟調を補えず減収。TAはインクは好調に推移するも
DTF*モデルの販売減により本体販売が伸び悩み。FAは自動車業界向けのFA装置の減少により大幅減収
- 営業利益は、前年同期比 319百万円の増益 (+3.5%、内為替影響 +539百万円) 営業利益率は11.3%。原価低減活動の継続
や製品ミックスの変化により収益性改善。販管費は、将来の成長にかかる研究開発費や人件費等の投資は計画どおりに執行した一方で、製
品の品質改善に伴い市場対応にかかる費用が減少。為替も押し上げ要因となり計画比上振れ。過去最高益。
- 4Q末バランスシート…重点指標CCC*は、在庫増加により高止まり傾向
(2025.3末:4.28月 →25.6末:4.96月 →25.9末:4.85月 →25.12末:4.51月 →26.3末:4.67月)

営業利益増減要因 (25/3期 vs 26/3期)

■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 880 - 売上原価 195 - 販管費 145 = 営業利益 539

【通貨別影響額】

USD	152.57円	→	150.78円	-144
EUR	163.74円	→	174.79円	+802
CNY	21.10円	→	21.25円	-12
TRY	4.48円	→	3.65円	-149
THB	4.38円	→	4.68円	+84
その他 (INR、IDR 等)				-41
			合計	+539

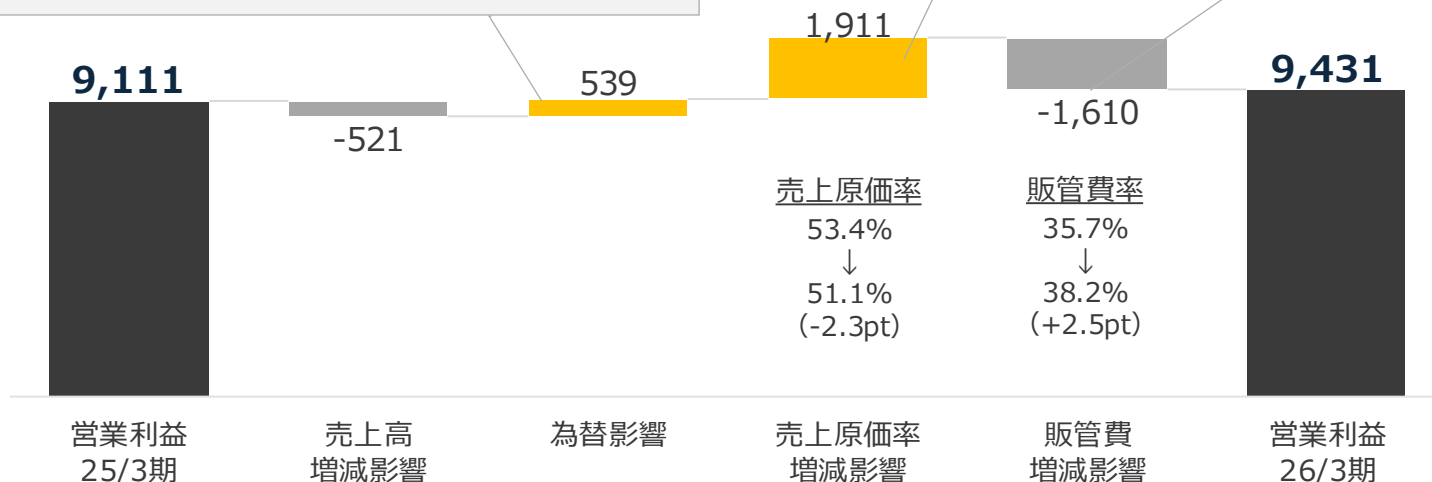
【売上原価率増減要因】

インク・本体機種のプロダクトミックス
の変化による改善
売上原価率は改善基調を継続

【販管費増減要因】

研究開発費	+1,483
人件費	+687
消耗品費	-209
その他	-351
合計	+1,610

(単位：百万円)



+3億19百万円

市場別売上高（2026年3月期 4Q実績）



		2025年3月期		2026年3月期(1-3月)				
(単位：百万円)		4Q実績	構成比率	4Q実績	前年同期比増減			構成比率
					金額	率	率(除為替)	
■	SG市場向け	8,998	39.8%	9,779	+780	+8.7%	+2.0%	41.9%
■	IP市場向け	6,086	26.9%	6,088	+2	+0.0%	-4.6%	26.1%
■	TA市場向け	2,488	11.0%	2,684	+195	+7.9%	+1.2%	11.5%
■	FA事業	1,968	8.7%	1,153	-814	-41.4%	-41.6%	4.9%
■	その他	3,046	13.5%	3,634	+587	+19.3%	-	15.6%
	合計	22,589	100.0%	23,341	+751	+3.3%	-1.8%	100.0%

- SG市場向け : プリント本体は、新製品のエコソルベントモデルや上期軟調のUVインク搭載モデルなどの既存製品が4Qにおける販売施策の効果により、各ラインナップともに想定を上回り2桁増収。インクも好調に推移
- IP市場向け : プリント本体は、大型FBが好調も小型において欧州・北米の回復基調は継続するも前年同期比の伸びは限定的。インクは2桁成長も全体では前年並み
- TA市場向け : プリント本体は、DTFモデルが大幅減も、減少幅は縮小傾向。2026年1月リリースの昇華転写のフラッグシップモデルの順調な立ち上がりや特定用途の専用機種が欧州・日本において好調に推移した背景により増収。インクの大幅増もあり全体では増収に転換
- FA事業 : 自動車業界向けのFA装置が大幅減少

市場別売上高 (2026年3月期 通期実績)

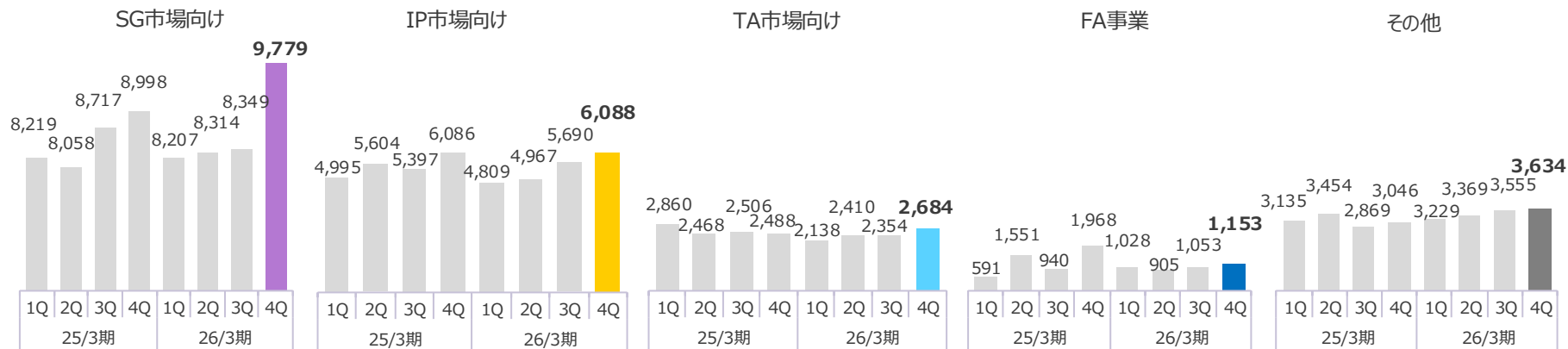


2025年3月期

2026年3月期

(単位：百万円)	通期実績	構成比率
SG市場向け	33,994	40.5%
IP市場向け	22,084	26.3%
TA市場向け	10,324	12.3%
FA事業	5,053	6.0%
その他	12,506	14.9%
合計	83,963	100.0%

通期実績	金額	前期比増減率	率(除為替)	構成比率	前回予想	前回予想比増減額
34,650	+655	+1.9%	+0.6%	41.4%	33,191	+1,458
21,557	-527	-2.4%	-3.5%	25.7%	21,927	-370
9,588	-736	-7.1%	-8.0%	11.5%	10,345	-757
4,140	-912	-18.1%	-18.0%	4.9%	4,558	-417
13,788	+1,281	+10.2%	-	16.5%	12,475	+1,312
83,725	-238	-0.3%	-1.3%	100.0%	82,500	+1,225



エリア別売上高（2026年3月期 4Q実績）



2025年3月期

(単位：百万円)	2025年3月期	
	4Q実績	構成比率
■ 日本	6,686	29.6%
■ 北米	4,170	18.5%
(現地通貨/\$)	27.5M	-
■ 欧州	5,146	22.8%
(現地通貨/€)	32.0M	-
■ アジア・オセアニア	4,135	18.3%
■ その他	2,450	10.8%
合計	22,589	100.0%

2026年3月期(1-3月)

4Q実績	前年同期比増減		構成比率
	金額	率	
6,085	-601	-9.0%	26.1%
4,828	+657	+15.8%	20.7%
30.7M	+3.2M	+11.9%	-
5,669	+522	+10.2%	24.3%
30.8M	-1.1M	-3.7%	-
4,058	-76	-1.9%	17.4%
2,700	+249	+10.2%	11.5%
23,341	+751	+3.3%	100.0%

- 日本： TAは新製品や特定用途の専用機種の販売が好調。SG・IPはプリンタ本体が大幅減。インクは、TA・IPが2桁増、SGも堅調。全体は、FAの自動車業界向けFA装置の大幅減もあり減収
- 北米： 全体2桁増収。SG本体は全ラインナップ好調で著しく増加。IPは小型の上位レンジが好調に推移し大型、ミドルサイズも好調。TAはDTFモデルの販売の大幅な減少を受け減収。インク全体も2桁増収
- 欧州： 為替の円安によるプラス影響が寄与。全体は、2桁増収。IP・SGは本体も2桁増収。TAはハイブリッドモデルなど伸長しDTFの影響あるも若干の減少。インクはTAが飛躍的に伸長。IP・SGも増。
- A・O： SGはUV搭載型好調で本体は増収。IP・TAは本体大幅減。インクはIPが飛躍的増加、SG・TAは減。全体も減収

エリア別売上高 (2026年3月期 通期実績)



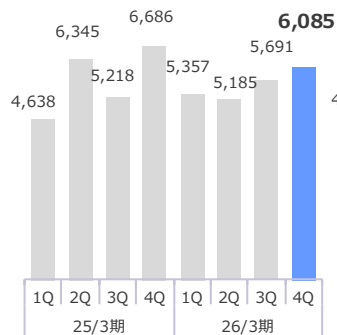
2025年3月期

2026年3月期

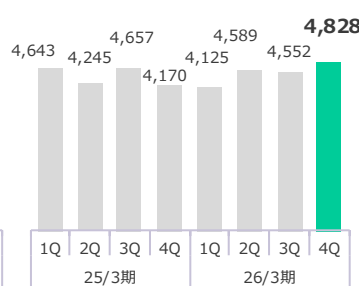
(単位: 百万円)	通期実績	構成比率
日本	22,888	27.3%
北米	17,716	21.1%
(現地通貨/ \$)	116.3M	-
欧州	19,323	23.0%
(現地通貨/ €)	118.0M	-
アジア・オセアニア	15,037	17.9%
その他	8,997	10.7%
合計	83,963	100.0%

通期実績	前期比増減 金額	率	構成比率	前回予想	前回予想比 増減額
22,319	-569	-2.5%	26.7%	22,286	+32
18,095	+379	+2.1%	21.6%	17,324	+770
119.9M	+3.5M	+3.1%	-	119.4M	+0.5M
19,403	+79	+0.4%	23.2%	18,156	+1,246
110.6M	-7.4M	-6.3%	-	114.0M	-3.3M
14,748	-289	-1.9%	17.6%	15,060	-312
9,159	+161	+1.8%	10.9%	9,671	-511
83,725	-238	-0.3%	100.0%	82,500	+1,225

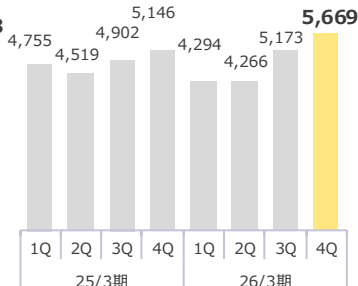
日本



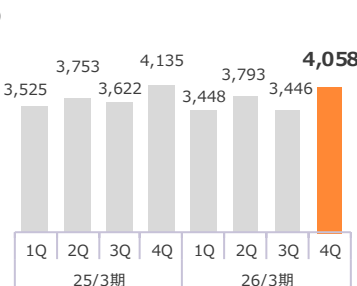
北米



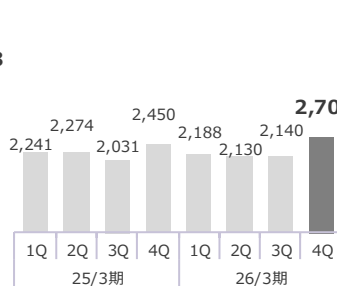
欧州



アジア・オセアニア



その他



要約貸借対照表 (2026年3月31日現在)

(単位：百万円)		2025年 3月31日	2026年 3月31日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	15,448	16,365	+917	+5.9%
	受取手形及び売掛金 (※1)	14,838	16,175	+1,337	+9.0%
	たな卸資産	24,863	27,692	+2,828	+11.4%
	その他流動資産	2,453	2,442	-11	-0.5%
	流動資産合計	57,603	62,675	+5,072	+8.8%
	有形固定資産	13,650	15,376	+1,726	+12.6%
	無形固定資産	847	1,053	+205	+24.3%
	投資その他の資産	4,072	3,784	-288	-7.1%
	固定資産合計	18,570	20,214	+1,643	+8.8%
合計	76,174	82,889	+6,715	+8.8%	
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金 (※1)	8,847	7,448	-1,398	-15.8%
	短期借入金 (※2)	16,557	19,606	+3,048	+18.4%
	その他流動負債	11,886	11,387	-499	-4.2%
	流動負債合計	37,291	38,442	+1,150	+3.1%
	長期借入金	3,972	1,975	-1,996	-50.3%
	その他固定負債	2,536	2,365	-170	-6.7%
	固定負債合計	6,508	4,341	-2,167	-33.3%
	負債合計	43,800	42,783	-1,016	-2.3%
	純資産合計	32,373	40,106	+7,732	+23.9%
合計	76,174	82,889	+6,715	+8.8%	

- ❖ 資産の部 +6,715
- ・ 流動資産 (+5,072)
→商品及び製品の増加等
 - ・ 有形固定資産 (+1,726)
→建設仮勘定の増加等
 - ・ 投資その他の資産 (-288)

- ❖ 負債の部 -1,016
- ・ 流動負債 (+1,150)
→短期借入金の増加等
 - ・ 固定負債 (-2,167)
→長期借入金の減少等

- ❖ 純資産の部 +7,732
→利益剰余金の増加等

(※1) 電子記録債権、電子記録債務を含む (※2) 1年内返済予定の長期借入金を含む

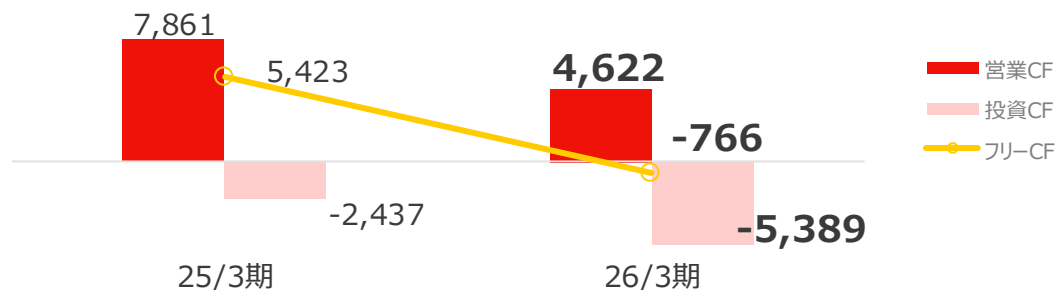
キャッシュ・フロー（2026年3月31日現在）



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,861	4,622	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上債権の減少 ・ 仕入債務の減少 ・ 棚卸資産の増加 ・ 為替差益の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,437	-5,389	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期預金預入の増加 ・ 有形固定資産取得の増加
フリー・キャッシュ・フロー	5,423	-766	
財務活動によるキャッシュ・フロー	-7,542	-1,315	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期借入金の増加 ・ 配当金支払の増加
現金及び現金同等物の期末残高	11,875	10,419	

■ 営業キャッシュ・フロー、投資キャッシュ・フロー、フリー・キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)



2026年3月期 連結業績

1. 第4四半期・通期実績

2. 2027年3月期 通期予想

3. APPENDIX



UJF-7151 plus II e

従来機「UJF-7151 plusII」で評価された高画質プリントと産業用途に求められる高精度な位置決め・重厚メディア対応や安定性を保ち、“厚く盛る”“深く打つ”機能や生産性・ランニングコスト削減を追求したハイパフォーマンスモデル

連結業績予想ハイライト (2027年3月期)



(単位: 百万円)	2026年3月期		上期		2027年3月期		下期		前期比増減		
	通期実績	売上高比率	予想	比率	予想	比率	予想	比率	金額	率	率(除為替)
売上高	83,725	-	43,200	-	47,800	-	91,000	-	+7,274	+8.7%	+11.5%
営業利益	9,431	11.3%	4,000	9.3%	5,500	11.5%	9,500	10.4%	+68	+0.7%	+14.6%
経常利益	8,907	10.6%	3,600	8.3%	5,000	10.5%	8,600	9.5%	-307	-3.5%	-
当期純利益*	6,741	8.1%	2,500	5.8%	3,600	7.5%	6,100	6.7%	-641	-9.5%	-
為替レート	米ドル 150.78円	-	146.00円	-	146.00円	-	146.00円	-	-4.78円	-3.2%	-
(期中平均)	ユーロ 174.79円	-	170.00円	-	170.00円	-	170.00円	-	-4.79円	-2.7%	-

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結業績予想の前提

- 売上高 …産業用インクジェットプリンタの市場環境は底堅く推移する見込みのもと、新製品の市場投入及び顧客志向の営業戦略の継続により、SG、IP、TAの各市場向け・FA事業ともに増収を想定。地域別も各エリアで売上拡大の見込み
- 営業利益…売上原価は、品質改善等による売上原価低減活動を継続。販管費は、研究開発費や人件費に加えて営業強化等の将来成長のための積極投資は継続。支払手数料等のコストコントロールは状況を踏まえつつ効果的に充当し、売上原価率を意識したオペレーションを推進
- 為替レート的前提：USD:146円/EUR:170円

中東等の国際政治情勢は、先行きの不確実性は強く残るも経済動向に注視しつつ以下の想定

- 大きく影響を受けると想定される中東エリアにおける売上、利益は織り込まず
- 原油価格高騰や物流の混乱及び為替変動リスクの見通しは困難な状況にあるも、原材料確保等の対応により、中東情勢が今後大きく悪化しないことを前提に、現時点において業績への影響は限定的と見込む

米国の関税還付の影響は未反映

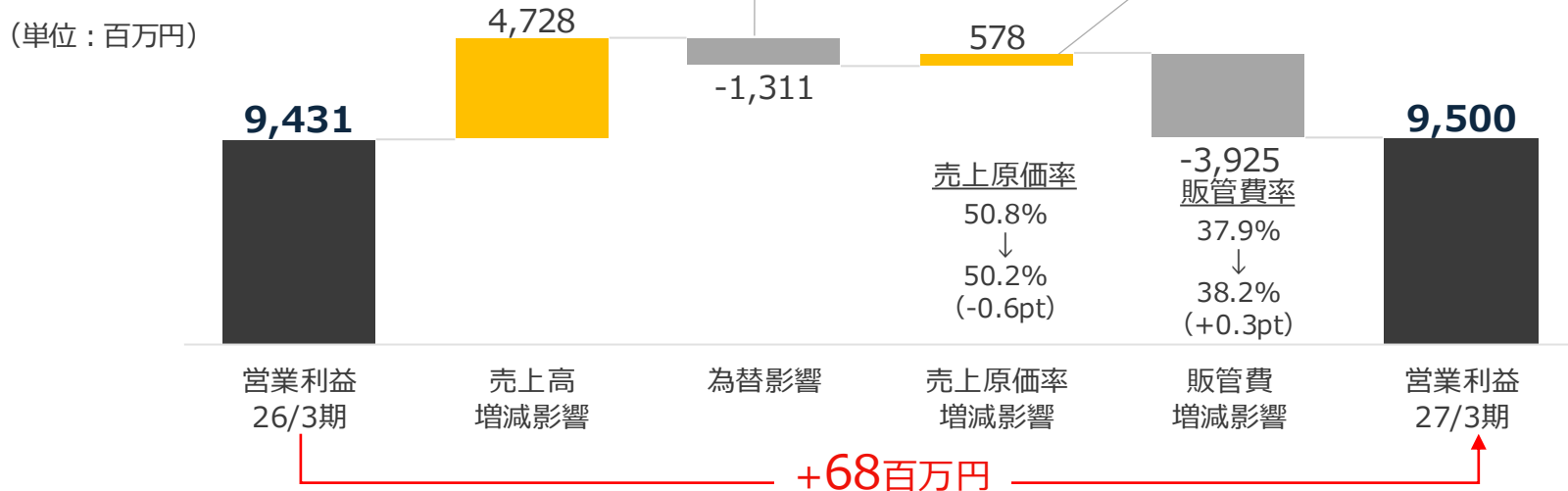
営業利益増減要因 (26/3期 実績 vs 27/3期 予想)

- 為替感応度 (1円/年) : USD 売上高 182百万円、営業利益 95百万円
EUR 売上高 137百万円、営業利益 81百万円

■ 売上・原価・営業利益への為替影響
売上高 -2,333 + 売上原価 469 + 販管費 552 = 営業利益-1,311
【通貨別影響額】

為替感応度 (1円/年)	USD/	150.78円	→	146.00円	-458
売上高	EUR/	174.79円	→	170.00円	-392
営業利益	CNY/	21.25円	→	21.00円	+23
USD	BRL/	27.76円	→	24.50円	-250
EUR	THB/	4.68円	→	4.41円	-90
	その他 (AUD、TRY 等)				-143
				合計	-1,311

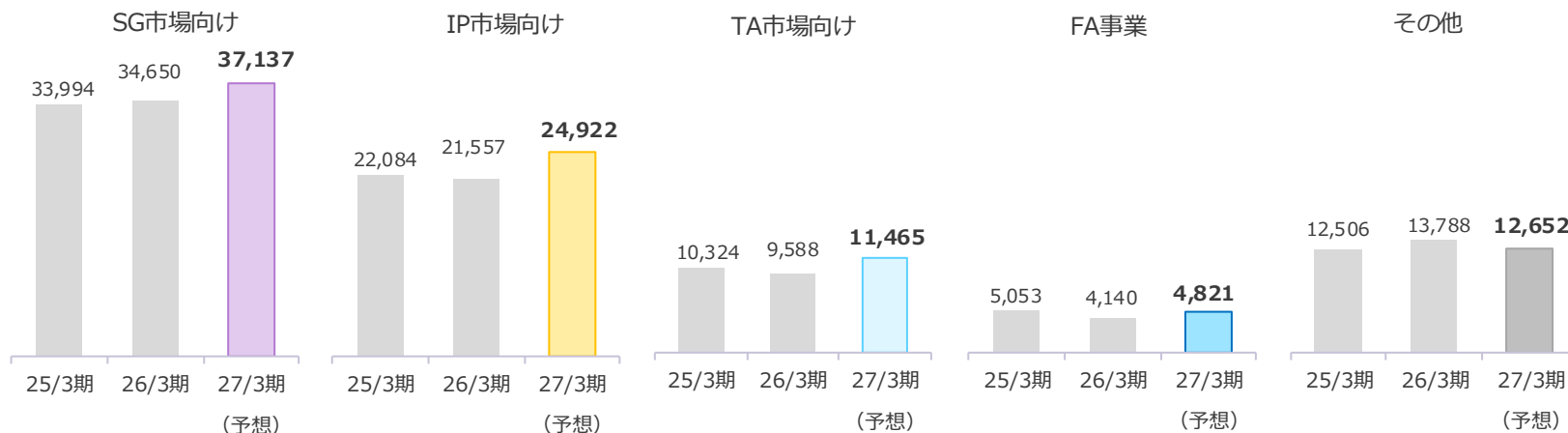
【売上原価率増減要因】
インクと本体モデルの切り替え等によるミックスの変化など、引き続き原価低減活動に取り組むことで原価改善を見込む



市場別売上高予想 (2027年3月期)



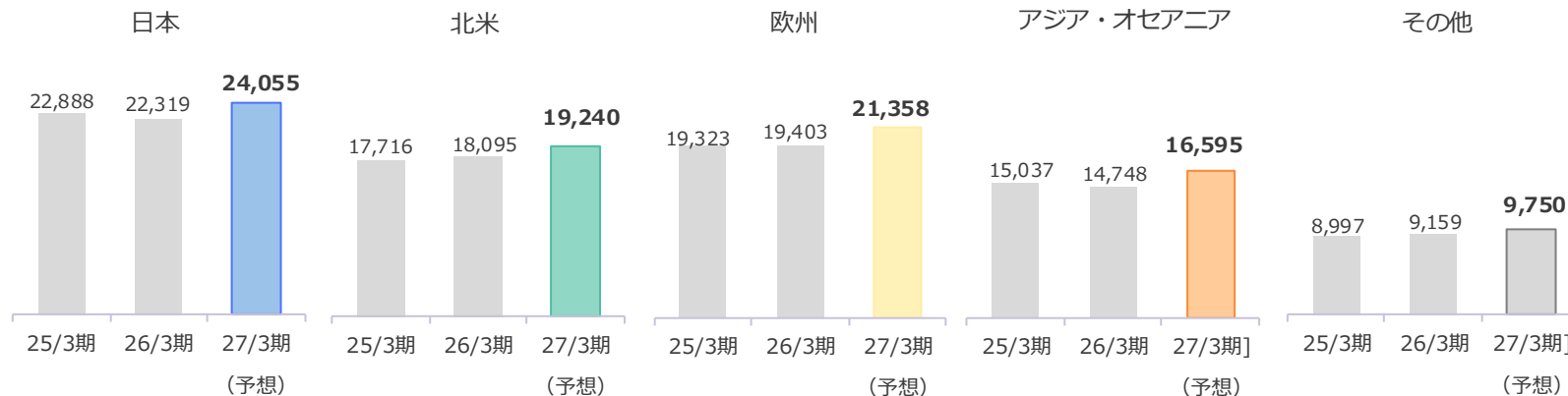
(単位：百万円)	2026年3月期		2027年3月期						
	通期実績	構成比率	上期予想	下期予想	通期予想	金額	前期比増減率	率(除為替)	構成比率
SG市場向け	34,650	41.4%	18,091	19,045	37,137	+2,486	+7.2%	+10.6%	40.8%
IP市場向け	21,557	25.7%	11,037	13,885	24,922	+3,365	+15.6%	+18.0%	27.4%
TA市場向け	9,588	11.5%	5,383	6,081	11,465	+1,877	+19.6%	+24.2%	12.6%
FA事業	4,140	4.9%	2,323	2,497	4,821	+680	+16.4%	+16.4%	5.3%
その他	13,788	16.5%	6,363	6,289	12,652	-1,136	-8.2%	-	13.9%
合計	83,725	100.0%	43,200	47,800	91,000	+7,274	+8.7%	+11.5%	100.0%



エリア別売上高予想 (2027年3月期)



(単位: 百万円)	2026年3月期		2027年3月期					
	通期実績	構成比率	上期予想	下期予想	通期予想	前期比増減金額	率	構成比率
日本	22,319	26.7%	11,628	12,427	24,055	+1,736	+7.8%	26.4%
北米	18,095	21.6%	9,110	10,129	19,240	+1,144	+6.3%	21.2%
(現地通貨/\$)	119.9M	-	62.4M	69.3M	131.7M	+11.8M	+9.9%	-
欧州	19,403	23.2%	9,950	11,407	21,358	+1,954	+10.1%	23.5%
(現地通貨/€)	110.6M	-	58.5M	67.1M	125.6M	+14.9M	+13.5%	-
アジア・オセアニア	14,748	17.6%	7,756	8,839	16,595	+1,847	+12.5%	18.2%
その他	9,159	10.9%	4,753	4,996	9,750	+591	+6.5%	10.7%
合計	83,725	100.0%	43,200	47,800	91,000	+7,274	+8.7%	100.0%

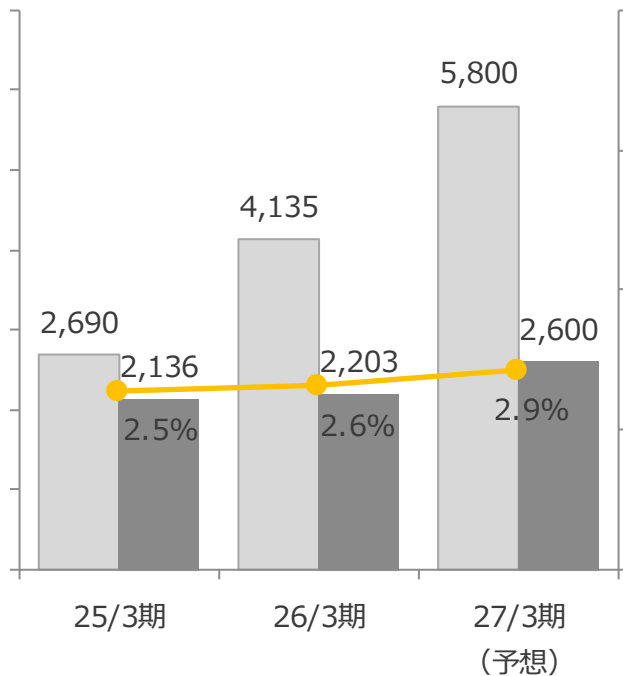


設備投資、減価償却、開発投資予想（2027年3月期）

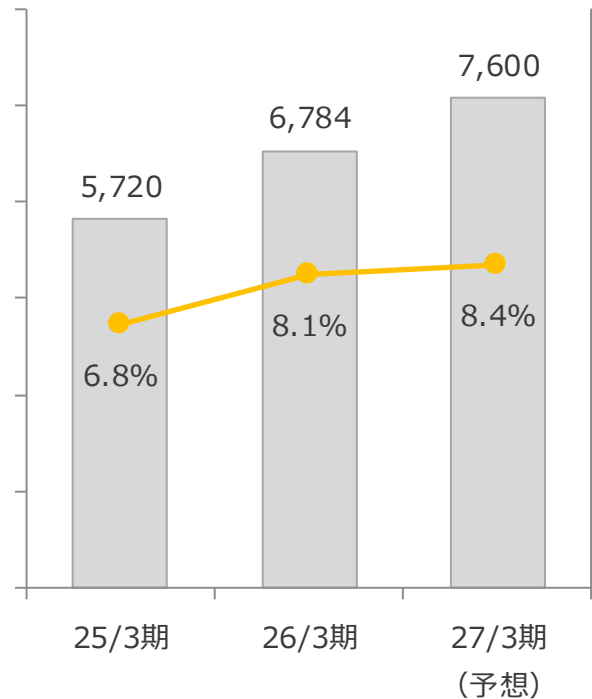


(単位：百万円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率



■ 開発投資 ● 対売上比率



販管費における「研究開発費」
 26/3期 5,155百万円
 27/3期 4,904百万円 (予想)

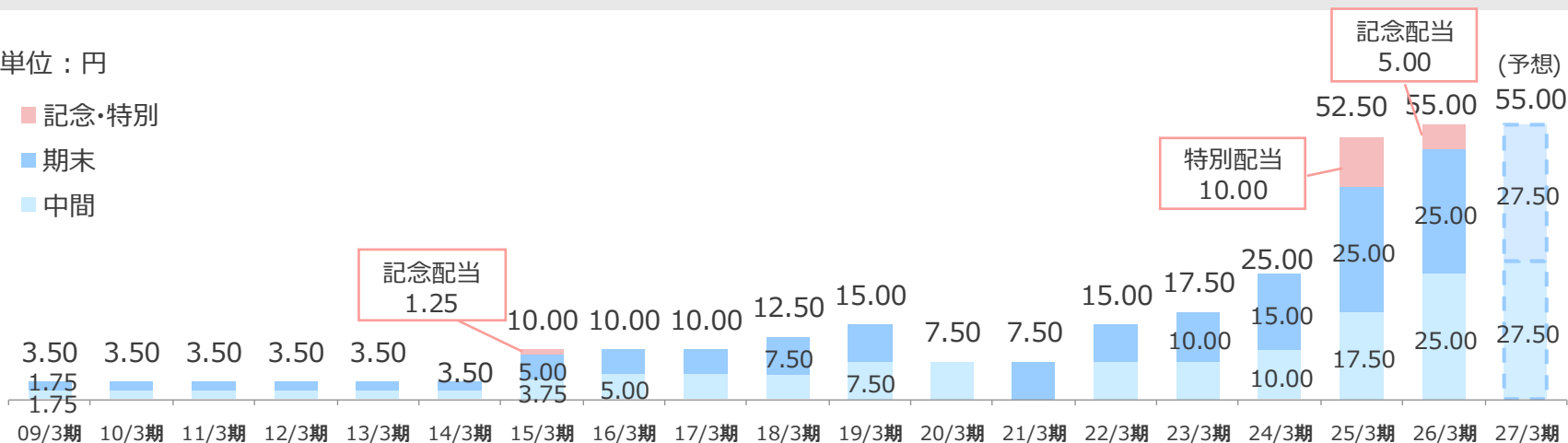
※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

- 2026年3月期 中間：25.0円、 期末：30.0円（内記念配当：5.0円）
業績及び今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、記念配当を含めた**年55.0円**に増配
- 2027年3月期(予想) 中間：27.5円、 期末：27.5円
今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、**年55.0円**を予想

単位：円



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

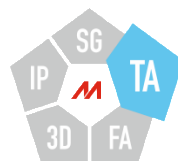
※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

2026年3月期 連結業績

1. 第4四半期・通期実績

2. 2027年3月期 通期予想

3. APPENDIX



TS200-1600

初めて昇華転写プリンタを扱う方でも簡単に高品質なプリントが可能なテキスト・アパレル向け昇華転写インクジェットプリンタ
当社フラグシッププリンタに搭載の「330エンジン」の高密度・高精細プリントヘッドをシングル搭載
均一で美しい高濃度カラーや精細なデザインを実現

経営ビジョン

1

独自技術を保有し、
自社ブランド製品を
世界に供給する
「**開発型企业**」を
目指します

2

顧客に
満足いただける製品を
素早く提供する
小回りの利いた
会社を目指します

3

市場に常に
「**新しさの違い**」を
提供する
イノベーターを
目指します

4

各人が持っている
個性・能力を
力一杯発揮できる
企業風土を
目指します



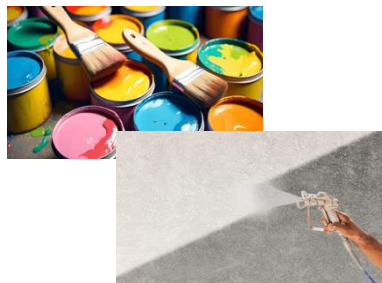
商号	株式会社ミマキエンジニアリング		
設立	1975年8月	資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代表者	代表取締役社長 CEO 池田 和明		
従業員数	連結：2,152名 単体：936名 ※2026年3月末現在		
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株=100株) ※2026年3月末現在		

安定的な収益性で売上高成長の追求を継続し、資源の積極的な活用により新たな領域にチャレンジすることで、
2030年3月期に売上高 **1,500億円** を目指す



詳細はウェブサイト
(2025年5月16日公表)
をご参照ください。

<https://ir.mimaki.com/about/mi30.html>



チャレンジ1

高粘度領域

粘度の低いインクから
粘度の高い塗料の分野へ

チャレンジ2

フレキシブル有機ELシート

インクジェット生産による
低コストな有機EL



※この画像は生成AIによって
作成されたイメージです

チャレンジ3

セカンドブランド

印刷の前後装置を提供し
顧客の“安心”を創出

チャレンジ4

3D事業の進化

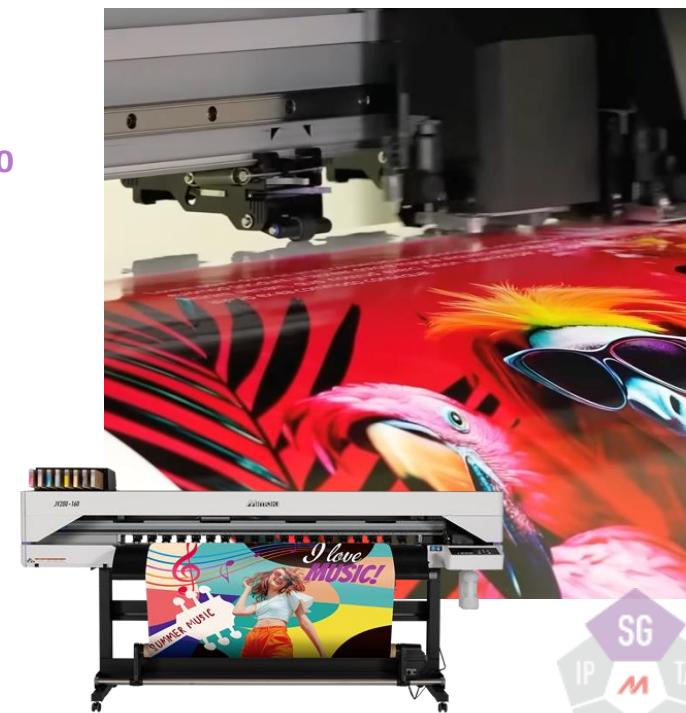
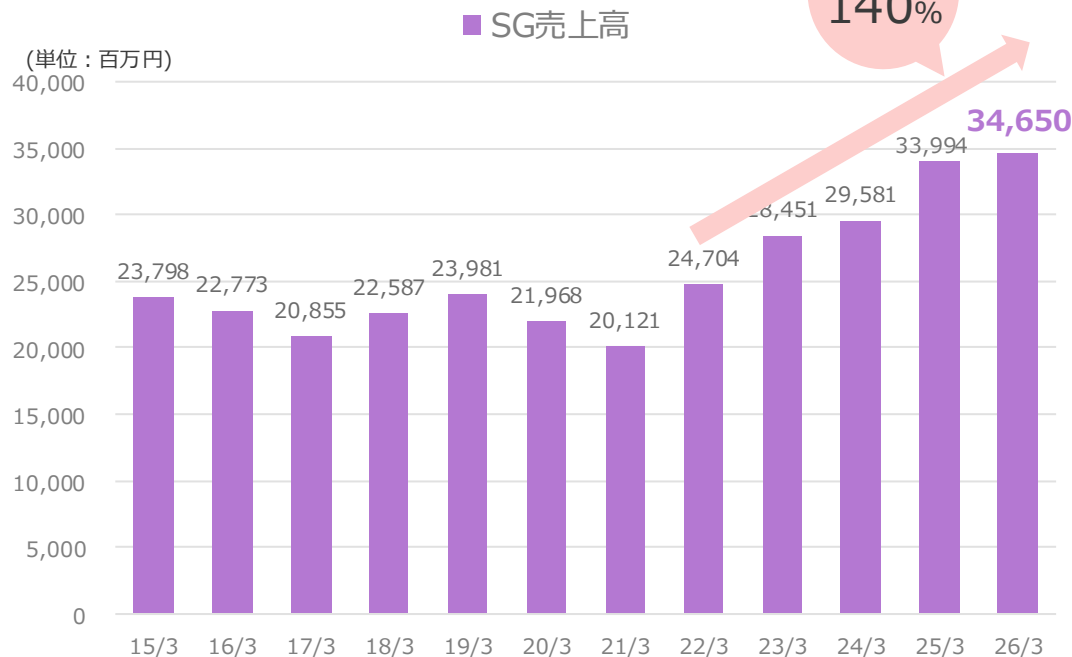
様々な素材の3D印刷
実現で大きく広がる市場



Made in JAPAN
Made by Mimaki

※MI30 : Mimaki Innovation 30

売上高推移

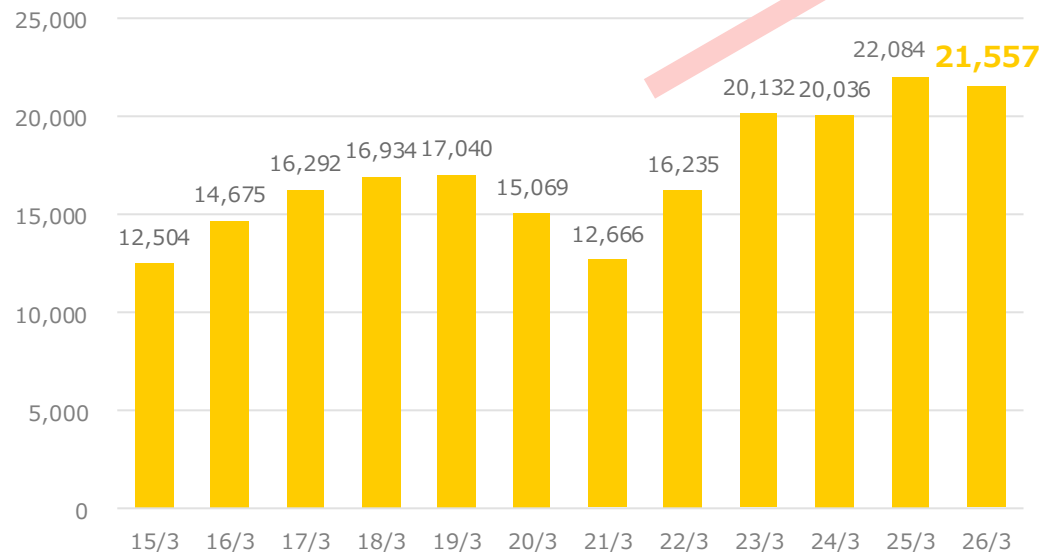


売上高推移

(単位：百万円)

■ IP売上高

5年伸び率
133%



000-42EC 30th Anniversary

© C.F.MARTIN & CO.,INC.

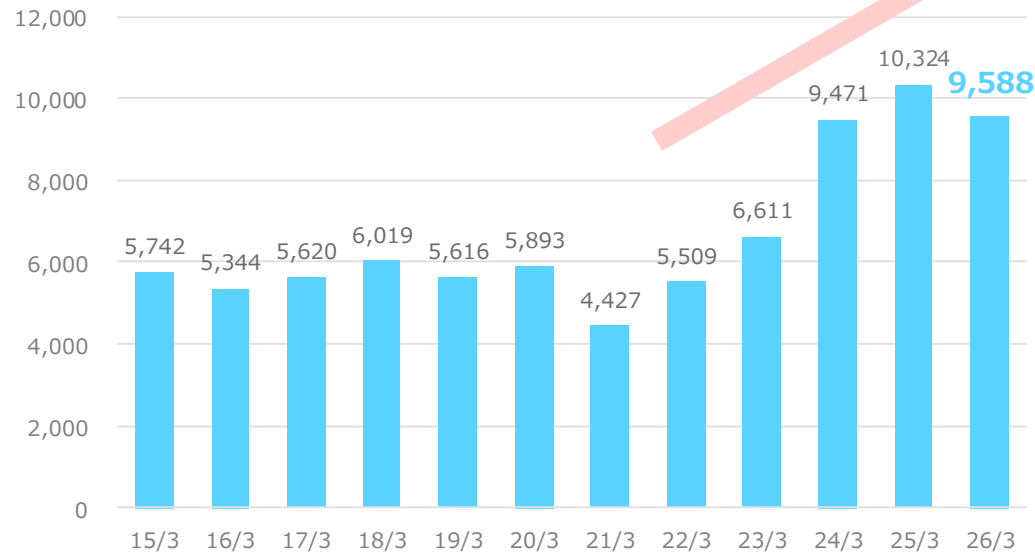


売上高推移

(単位：百万円)

■ TA売上高

5年伸び率
174%



ソルベントインク

溶剤：PVCアタック：前処理不要



屋外耐候性

ソルベント（有機溶剤）がPVC※の表面を侵食し揮発、顔料が食い込むことで高い屋外耐光性/耐候性/耐擦過性を実現するインク

- 環境配慮型のインクで認証取得

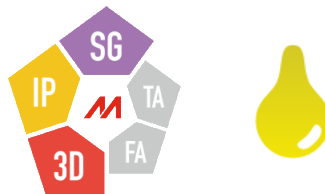
対象素材：PVC※など



※PVC=ポリ塩化ビニール

UV硬化インク

紫外線で硬化：素材を選ばない



紫外線で即硬化

UV光（紫外線）を照射させることにより、硬化・定着するインク

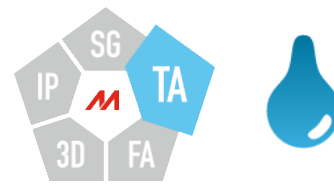
- 乾燥時間が不要
- 様々な素材へ印刷

対象素材：樹脂、ガラス、金属など



水性昇華インク

高温でガス化、ポリエステルに着色



水を使用しない染色

ポリエステル素材へのプリントを飛躍的に美しくする高濃度インク

- 紙転写 / ダイレクト印刷に対応
- 蛍光色にも対応し発色が鮮やか

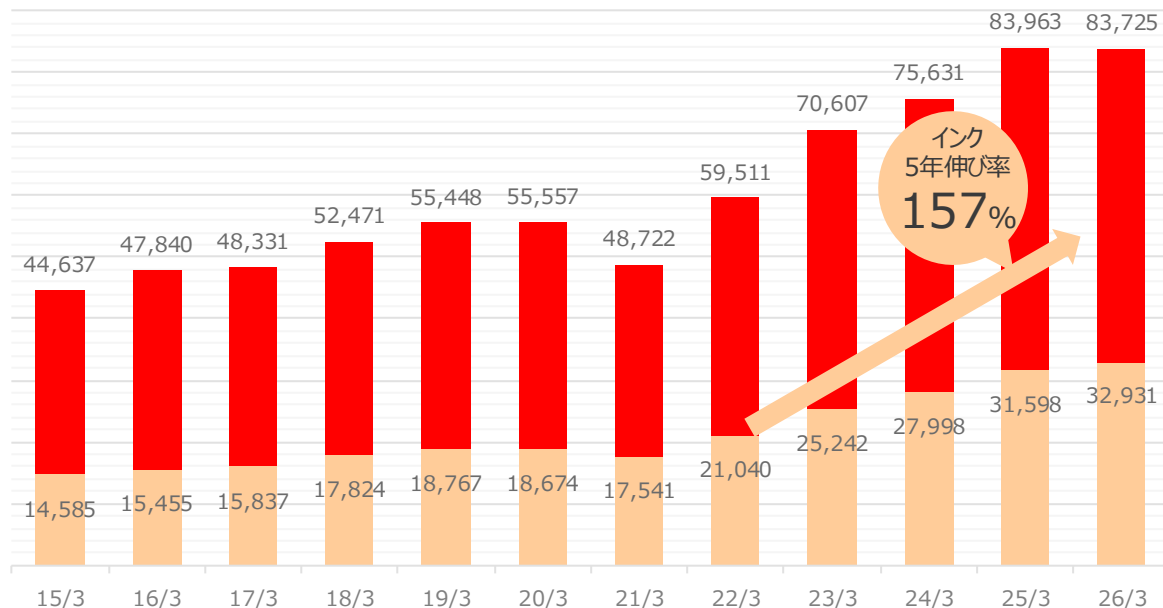
対象素材：ポリエステル



売上高とインク売上高の推移

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ インク売上高



[紙製インクカートリッジ]



- インクの5年伸び率は157%と急増
- 稼働台数の増加に伴い、インクの売上高も増加
- TAプリンタ販売数増加、特にTシャツ用途で使用される白インクが伸長







ストックビジネスであるインクは、販売数量の増加に伴い、収益の安定化に貢献

持続可能な社会への貢献を、さらに効果的・効率的に推進すべくサステナビリティ方針とマテリアリティ※

当社グループのサステナビリティ方針

※重要課題

1. 産業印刷のデジタル・オンデマンド化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する
2. 安心して成長・挑戦できる職場環境を提供し、地域社会の維持・発展に尽力する

マテリアリティ	関連するSDGs番号
既存・新規事業を通じた産業印刷のデジタル化 インクジェット×デジタル・オンデマンド印刷で、 サステナブルなものづくり	      
イノベーションを通じたサステナビリティへの貢献 技術力で社会課題にソリューションを	      
グループ人財の活躍と地域社会の活性化 挑戦を貴び、安心して働ける職場作り 地域とともに歩み続ける地元企業として	      
責任あるサプライチェーンの実現 環境リスク等の予防・低減、製品の安定供給へ	     
企業成長に応じたガバナンスの徹底 テクノロジーや教育を活用し、経営管理体制・内部統制を強化	



IRメール配信
登録はこちら



本資料に関するお問合せ先



株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

<https://ir.mimaki.com/>



〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。